



日本の
ひなた
宮崎県

中部教育事務所だより「絆」 12月号



令和4年12月20日(火)

学校図書館充実のために・・・

11月22日(火)に、「中部教育事務所 読書活動推進のための研修会」を実施しました。実践発表及び講義をとおして、学校図書館充実のために特に参考となる点を以下にまとめました。



【実践発表】

「学校図書館における学校司書としての役割と実践」

発表者：国富町立八代中学校 武村亜規子 学校司書

学校図書館運営は、全職員で組織的に行うことが重要です！

除籍や選書、配架の見直しなどの環境整備、職員研修など学校図書館長である校長先生のリーダーシップのもと、全職員で組織的に取り組まれていました。

【講義】「子供の発達と成長に喜びを感じる学校司書とは」

講師：立教大学 中山美由紀 兼任講師

読書推進のためには、読書冊数ではなく読書の「質」への考えの変換が重要です！



読書冊数に目を向けがちですが読書の「質」に着目することが大切です。学校司書は子どもの発達の段階に応じて読書の階段を登らせる手立てを行う必要があります。そのために学習指導要領の読む領域の系統や子どもの発達の段階を理解するなど専門性の向上が求められます。

学校図書館は、学校にとって欠くことのできない基礎的な設備です。子どもたちの学力の土台であり、人生を豊かなものにするための基盤の一つでもあります。学校図書館の運営について何か相談がありましたら、中部教育事務所まで連絡ください。

新規の不登校児童生徒数の減少を目指して・・・

12月5日(月)に、管内小・中学校生徒指導担当者会をオンラインにて開催しました。教育事務所からの説明のほか、国富町立本庄中学校の「魅力ある学校づくり調査研究事業」の取組を紹介しました。本庄中学校の取組について、参考となる点は以下のとおりです。

○「魅力ある学校づくり」に向けた**学校経営方針の中に、生徒指導の取組が位置付けられており、管理職のリーダーシップのもと、生徒指導主事を中心とした組織的な取組が進められている。**

○「**傾聴と承認**」をキーワードに、**全職員で取組の共通理解を図っている。**

○教育相談の充実を目指し、**1年生全員を対象としてスクールカウンセラーによるカウンセリングを実施している。**(現在は2年生も実施中)

「実践内容は、ほかの学校でも取り組まれていることだが、本事業をきっかけに一つ一つの取組の見直しを図った。」ということでした。



教育事務所からは、「絆11月号」掲載の「学校における具体的な取組について」の説明を行いました。冬休み明けから年度末に向け、**新規の不登校の未然防止をはじめとした校内の生徒指導体制について、見直しを行い、具体的な取組を進めていただくようお願いします。**

問合せ先：中部教育事務所
(担当:河野)

TEL (0985) 44-3322

Fax (0985) 44-3330

代表アドレス chubu-kyoiku@pref.miyazaki.lg.jp

中部教育事務所は、各学校のマネジメント力を高め、チーム学校としての教育力向上を支援します。